

令和3年度北杜市総合教育会議 会議録 (要旨)

開催日時 令和4年3月22日(火) 午後4時30分

開催場所 北杜市役所 北館大会議室

出席者 委員
輿水清司教育長、古屋昭彦教育長職務代理者、浅川英三教育委員、
藤森勇教育委員、小林秀彦教育委員、伊藤やよい教育委員
上村英司市長

教育委員会(教育部)

加藤寿教育部長、佐野隆教育部参事、平井ひろ江教育総務課長、渡辺
美津穂生涯学習課長、廣瀬公明中央図書館長、村松佳幸学術課長、小
林晋甲陵中・高等学校事務長、田中和美教育指導監、氏原求指導主事、
土屋英己給食担当リーダー、天池富貴男総務担当リーダー、柳澤信吾
総務担当

事務局

中山晃彦総務部長、原章浩総務担当リーダー、平嶋華奈総務担当

議題 (1) 教育に関する大綱について
(2) 北杜市の学校教育について
(3) 北杜市いじめ防止基本方針の見直し等について
(4) その他

公開・非公開の別 公開

傍聴人の人数 1人

内容

1. 開会(午後4時30分)
2. 市長あいさつ
3. 教育長あいさつ
4. 協議事項

会議招集者が市長であるため、市長が協議の進行役となる。

(進行)

「(1) 教育に関する大綱について」を教育部に説明を求める。

(教育部)

資料『「教育大綱」の法的位置づけ』『第3次北杜市総合計画』により説明。

(進行)

意見、質問を求める。

(委員)

総合計画について、目標を具現化していくのに多岐・細部にわたって作成されていて素晴らしいものだと思う。魅力ある学校教育や信頼される学校教育に向けて、第4章の内容が対応していて良い。また、学校や家庭、地域が連携して取り組むことが課題になっているが、総合計画の内容の中に、地域性を活かした特色ある教育機会の取組概要が位置づけられていて良いと思う。

(委員)

10年後2030年に向けてバックキャストिंगの考え方で計画された総合計画となっている。改革をしていくことは基本的には人が行っていくことであり、人を育てていくことがいかに重要かということが言える。AIやITは今後活躍していくものであるが、使いこなしていくのが人である。子供たちに投資をしてほしい。2030年は8年後になるが、今の中学生が社会人になる年数である。中学生の期間にどう育成していくかが重要であると思う。

(委員)

教育において地元を愛する視点が重要であると感じる。北杜市は観光の視点で人が来てくれるような良いまちであると思う。教育の視点でも、子供たちに地域を愛する姿勢を身につけてもらいたい。また、学校現場で地元の良さを知る機会をつくっていただきたい。

(委員)

これからの時代は横のつながりと縦のつながりで連携していくことが重要である。関わり合いながら一人ひとりがどのような人生を過ごすかということが

総合計画に表されていて改めて素晴らしい内容であると思う。芸術・文化の振興・継承の項目で、市内に在住する芸術家や文化人等との連携・活用がある。北杜市に移住してきた方の新しい力と今までの北杜市の良さを掛け合わせながら実践ができれば良いと思う。

(委員)

これまで取り組んできたことの洗い出しと発展が盛り込まれた総合計画になっていると思う。この2年間はコロナでさまざまな行事や活動が制限されていて残念。また、地域の子供たちと関わる機会が減ってきていて、大変もどかしい思いでいる。そんな中で、この総合計画は、ウィズコロナ・ポストコロナを継承していく意思を感じて心強い思いがした。この5年10年で、実現が出来るような社会になっていければ良いと感じる。

(進行)

第3次総合計画は5年後に見直しをする。気が付いた点があれば、随時事務局に伝えてほしい。

「(2) 北杜市の学校教育について」を教育部に説明を求める。

(教育部)

資料『(案) 北杜市の学校教育』により説明。

(進行)

北杜市の学校教育について、教育長に意見を求める。

(教育長)

北杜市の学校教育は原っぱ教育と表される。原っぱ教育とは何かと改めて考えたときに、原っぱ教育の起源と、これから何を目指していくかという観点をはっきりさせていく必要があると感じる。北杜市の子供たちの体力が全国平均より下であることや、都会の子よりも田舎の子のほうが体力が落ちている現状がある。私たちが子供の頃に駆け回った原っぱを今の子供たちにも原点として捉えてもらい、北杜市で大きな課題であるいじめや不登校の問題も含めて、原っぱ教育を基盤としながら、魅力ある学校づくり、信頼される学校づくりを進めていきたい。総合計画は、若い人から魅力のある市を推進するなかで、教育の占める割合が大きくなっている。教育を非常に重視しているということを強みに感じながら、具体的に検討していきたい。

(委員)

原っぱにさまざまな植物が生えて共存しているように、子供たちも多様でなければいけないと感じる。不登校の子供の多様な子供の一人なので大切にしていかなければならない。また、北杜市は教育に関心が高いことから、昔から県内でも北巨摩教育と言われなじみがあった。事務局の説明にもあったが、これからの北杜市の教育は、ヒト・モノ・コトの点を線として繋げて形にして具現化していくことが必要であると感じる。

(進行)

普段の生活の中で、北杜市に住んでいる子供たちの自己肯定感を感じている。これからも、未来を切り開いていけるような子供たちを北杜市で育てていきたいと思う。

「(3) 北杜市いじめ防止基本方針の見直し等について」を教育部に説明を求める。

(教育部)

資料『北杜市いじめ防止基本方針』『いじめ対応アクションプラン』『いじめの重大事態対応マニュアル』により説明。

(進行)

意見、質問を求める。

(委員)

いじめの対応の形としてしっかりとまとまっていると思う。これからは、教育委員会としてどのような対応するのが重要になる。教職員への研修等体制づくりをし、今後いかにマニュアルを定着できるのかがポイントであると思う。

(委員)

第三者委員会の提言を受けて、基本方針がしっかりと作られている。また、アクションプランが教職員、児童・生徒、地域の方、市教委それぞれの立場で分けて計画されていて素晴らしいものになっている。具体的に実行していただきたいことを2点挙げる。学校の職員が保護者と向き合うことが難しい場合が出てきたときに、SSWが保護者と学校を繋げる役割をしていただきたい。そして、教職員一人ひとりがカウンセリング学び、生徒に寄り添っていけるようにするための研修の機会をつくっていただきたい。以上のことで、さらに計画が良い方向に進んでいくと思うので検討していただきたい。

(委員)

北杜市は自然や歴史等の良いところがある一方、北杜ならではのマイナス面もある。子供のいじめの問題についても、すべての関係者が、全国一般的な問題ではなく、北杜市だから起こりうる問題として自分のこととして捉えていくような意識をもってほしい。

(委員)

学校で最初にいじめに対応できるのは教職員である。教職員が日々の生活の中で様々なところに目配りができるような体制を整えていかなければいけないと感じる。いじめの問題を解決していく段階で、必要な問題に関しては市全体で解決していく。しかし、個々や現場で振り分けされた情報を受け取ることができるようゆとりを持てるようにしてほしい。

スクール構想等の業務改善が検討されている中で、先生方にも少しでも子供たちに目を向けられる時間のゆとりをもってもらえるような体制づくりが必要である。

(委員)

教職員と保護者、児童・生徒、市教育委員会、地域という5つの枠の中で、総がかりなアクションをしていく考え方は素晴らしいと思う。今後はマニュアルで終わってしまわないようにすることが重要である。それぞれの先生方が具体的に読み解いていくことが、個々の事例に対応できる力になると思う。そのためには、どうやって方針を先生方に伝えていくのかということが重要である。学校任せにするのではなく、この資料をすべての先生方が理解していけるように具体的にどうするか検討してほしい。

(進行)

素晴らしいプランができたが、これからどう対応するかが重要という意見を頂いた。ぜひ、現場でも浸透させていけるようお願いしたい。

(4) その他 について各委員に一言求める。

(委員)

北杜市の魅力というお話があったが、北杜市にはまだまだたくさんのお宝があると思う。そういった情報交換もお互いにしていきたい。

(委員)

ギガスクール構想の関係で、子供たちは一人につき端末一台を利用している。このコロナ禍で、学習の幅が広がったという捉え方もできると思う。教室を分けて少人数で学習をしたり、自宅で自分のペース配分で学習したり、さまざまな学習の仕方ができた。コロナ禍の学校の取り組みの成果や課題を共有してより良い活動に繋げていけたら良いと思う。

(委員)

コロナ課で実施されているリモート授業は、教室に行けない不登校の子供も意見交換ができるというメリットがあるという話聞いた。お金もかかることだが、せっかく導入をしているものは有効に活用できる方法を発見して欲しい。また、教職員の業務がひっ迫している現状で、ひとつのデータをみんなで共有できるような方法をこれから考えていければ良い。そして、子供たちと触れ合う時間に繋げて欲しい。

(委員)

北杜市の学校教育の重点目標の9 学校施設の維持管理・整備がなかなか進んでいかないということが現実である。学校の適正規模、適正配置の検討は非常に注目されている中で、引き続ききちんと計画の策定ができれば良いと思う。

(委員)

原っぱ教育が北杜の教育の原点であると感じる。豊かな国際感覚や、情報活用能力等を身につけるところまで見据えた教育方針を立てているが、まだまだ内外共に浸透していないと思う。自然と触れ合う中で学んでいくことは多いと思うので、もっと、子供たちに小さいころから自然に触れ合えるような体験をさせてあげられるようにして欲しい。

(教育長)

子供たちにいじめに対応できる力をどうつけていくかが重要。生きていくなかで、一番ベースになっていくと感じているので、引き続き検討していきたい。

(進行)

一番良くないことは学校で孤立することだと思う。芽を摘み取って気づいてあげられることが必要だと思う。現場での対応を期待するとともにお願いをしたい。

以上で協議事項を終了する。

(事務局)

以上で北杜市総合教育会議を終了する。

6. 閉会

(午後5時35分)